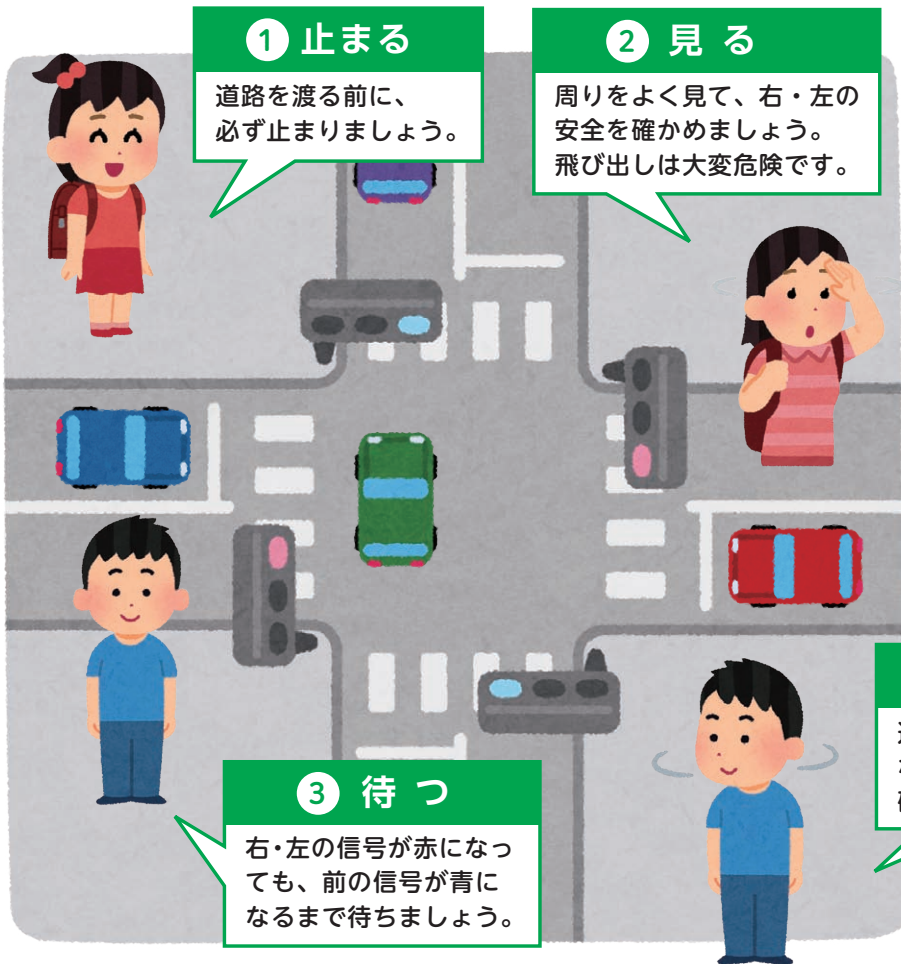


歩行者の注意点

交通ルール4つの約束



信号をよく見よう



青

渡ることができますが、すぐに飛び出さず、曲がってくる車に注意しましょう。

黄

渡りはじめてはいけません。青色になるまで待ちましょう。

赤

渡ってはいけません。

交通安全 道路標識クイズ

次の標識は、何を表しているでしょうか。

Q1



- ①新しい自転車に乗りたい!
- ②車は通行できます
- ③自転車と歩行者だけ通行できます

Q2



- ①学校、幼稚園、保育園などが近くにありますが
- ②仲良く踊りましょう♪
- ③2人きょうだいです

Q3



- ①一時停止をしてください
- ②この先は通行できません
- ③「止まれ」と叫んでください

答えは24ページにあります。



発見！ ちょっと気になる まちの人

交通指導員 加藤 克行 さん

交通指導員は町から委嘱された職員で、子どもたちに交通安全教育や交通指導を行っています。今回、伊奈町で50年以上交通指導員を続けている加藤さんにお話を伺いました。

——交通指導員はどのような活動をしていますか？

朝、横断歩道のところに立って、小学生たちが安全に登校できるように交通指導を行っています。広がって歩いている子たちを一列にしたり、道路を横断するときはしっかり左右を見て確認し、手を挙げて渡るように教えています。信号が点滅したら渡らないように止めて、信号が青になってもすぐに慌てて走って渡らないようにと伝えています。信号が青なら事故は起きないわけではありませんので、常に車の流れを見ています。

また、毎年交通安全教室を行っています。小学1年生は歩行するときの注意点を、小学3・4年生は自転車に乗る際の注意点を教えています。

ほかにも、町のイベントでの交通整理も活動の一つです。伊奈まつりの時には、伊奈学園付近で交通整理を行います。夜は暗く、事故が怖いので特にしっかり活動しています。



——交通指導員になったきっかけは？

50年以上前、当時10区の自治会があり、各区それぞれ1人ずつ交通指導員がおり、そのころからです。昭和42年の上尾国体の際も活動しました。現在の町の交通指導員は10人ほどなので、もう少し増えるといいですね。

事故が起きないように、起こさないように。事故があるとがっかりしてしまいます。けがなくみんなが生活できるように活動したいですね。



▲交通指導員証はいつも携帯しています。
なんと昭和の時代に発行された指導員証も！

——子どもたちに伝えたいことはありますか？

事故全体で見ると、年齢は7、8歳の子どもが事故の被害者になることが多いです。時間帯は朝と下校時刻（夕方）の事故率が高く、場所は家から500m以内の近所で起こっています。小学1・2年生は友達が増えて行動範囲が広がり、親の目からだんだんと離れる年齢です。また、急いでいるときや慌てているときは事故率が高いです。交通事故に遭わないように、自分の命は自分で守るためにも、日ごろから交通ルールを意識して、気を付けてほしいと思います。

——大人のみなさんに伝えたいこと

子どもは大人の行動を見て真似をします。ぜひ、大人が子どもたちの見本になり、交通ルールを意識してほしいです。1分1秒急ぐ時もあると思いますが、事故が起これなければ交通ルールを無視してもかまわないと自分で解釈せず、モラルを忘れないでほしいです。

——ありがとうございました。交通事故は、いつ、どこで起きるかわかりません。交通事故の被害者や加害者にならないように、日ごろから交通ルールを意識し、気を付けていきたいですね。